

なんでもないや

「君の名は」の OP/ED/主題歌^{しゅだい か}

ふたり あいだ とお す かぜ
二人の間 通り過ぎた風は
どこから^{さび}寂しさを^{はこ}運んできたの
泣^ないたりしたそのあとの^{そら}空は
やけに^す透き^{とお}通っていたりしたんだ

とが ちち ことば
いつもは尖^{とが}ってた父の言葉が
きょう あたた かん
今日は暖^{あたた}かく感^{かん}じました
やさ えがお ゆめ かた かた
優^{やさ}しさも笑^{えがお}顔も夢^{ゆめ}の語^{かた}り方^{かた}も
し ぜんぶ きみ ま ね
知らなくて全^{ぜんぶ}部^{きみ}君^まを真^ま似^ねたよ

すこ すこ
もう少し^{すこ}だけでいい あと少し^{すこ}だけでいい
もう少し^{すこ}だけでいいから
もう少し^{すこ}だけでいい あと少し^{すこ}だけでいい
もう少し^{すこ}だけ くっついていようか

ぼく とき か あ
僕^{ぼく}らタイムフライヤー 時^{とき}を駆^かけ上^あがるクライマー
とき
時^{とき}のかくれんぼ はぐれっこはもういやなんだ

うれ な かな わら
嬉^{うれ}しくて泣^なくのは 悲^{かな}しくて笑^{わら}うのは
きみ ころ しみ お こ
君^{きみ}の心^{ころ}が 君^{きみ}を追^おい越^こしたんだよ

ほし ねが て
星^{ほし}にまで願^{ねが}って 手^てにいれたオモチャも
へ や すみ いま ころ
部屋^への隅^やっこに今^{いま} 転^{ころ}がってる
かな ゆめ きょう こ
叶^{かな}えたい夢^{ゆめ}も 今^{きょう}で 100 個^こできたよ
ひと こうかん
たった一^{ひと}つといつか 交^{こう}換^{かん}こしよう

しゃべ こ きょう
いつもは喋^{しゃべ}らないあの子^こに今^{きょう}日は
ほう か ご あした こえ
放^{ほう}課^か後^ご「また明日^{あした}」と声^{こえ}をかけた
な
慣^なれないこともたまにならいいね
とく となり
特^{とく}にあなたが 隣^{となり}にいたら

もう少し^{すこ}だけでいい あと少し^{すこ}だけでいい
もう少し^{すこ}だけでいいから
もう少し^{すこ}だけでいい あと少し^{すこ}だけでいい
もう少し^{すこ}だけくっついていようよ

ぼく 僕らタイムフライヤー 君^{きみ}を知^しっていたんだ
ぼく 僕^{ぼく}が 僕^{ぼく}の名^な前^{まえ}を 覚^{おぼ}えるよりずっと前^{まえ}に

君^{きみ}のい^いない 世^せ界^{かい}にも 何^{なに}か^いの意^い味^みはき^きつとあ^あつて
でも君^{きみ}のい^いない 世^せ界^{かい}など 夏^{なつ}休^{やす}みのい^いない 八^{はち}月^{がつ}のよう
君^{きみ}のい^いない 世^せ界^{かい}など 笑^{わら}うこ^ことない サ^さン^たのよう
君^{きみ}のい^いない 世^せ界^{かい}など

ぼく 僕らタイムフライヤー 時^{とき}を 駆^かけ上^あがるクライマー
時^{とき}のかくれんぼ はぐれっこはもういやなんだ

なんでもないや やっぱりなんでもないや
今^{いま}から行^いくよ

ぼく 僕らタイムフライヤー 時^{とき}を 駆^かけ上^あがるクライマー
時^{とき}のかくれんぼ はぐれっこ はもういいよ

君^{きみ}は派^は手^でなクライヤー その涙^{なみだ} 止^とめてみたいな
だけ^{だけ}ど 君^{きみ}は拒^{こば}んだ 零^{こぼ}れるま^まの涙^{なみだ}を見^みてわかった

うれ^{うれ}しくて泣^なくのは 悲^{かな}しくて笑^{わら}うのは
僕^{ぼく}の心^{こころ}が 僕^{ぼく}を 追^おい越^こしたんだよ